

推進員さんの活動報告

報告書（2022年度後期、2023年度前期報告書より）の中から、推進員さんの活動の一例を紹介します。

和歌山市 加藤理菜さん

1. 活動内容

磯ノ浦Familyビーチクリーン（2022年秋、2023年春、夏）※今後も定期的に活動予定

2. 活動を通じて気が付いたこと

- 大量の海洋ごみは、誰かがそこに捨てに来ていると思っている人もいます。しかし、その多くは、自分たちが日々の生活で出したものが強風やカラス、猫などの動物によって散らかり、川に流れ海まで来ています。その事実を知らない人が多いと感じます。「ごみの出所は自分には関係ない」と思わずに、「全ての人に原因がある」という事を知って欲しいです。
- 活動に参加する子供に「頑張って拾いなさい」と言うと子供にとっては「やらないといけない」になり「もう行きたくない」となってしまう子が居ました。そのため「3袋だけ頑張ったら、後は遊んでいいよ。」等と伝えると、子供は張り切って集めてきてくれます。スタンプカードを作って楽しみながら継続できるようにも工夫しています。



海南市 堀田めぐみさん

1. 活動内容

6月の線状降水帯による災害後の清掃

2. 活動を通じて気が付いたこと

水害のとき日頃の清掃活動がいかに大切か身に沁みました。市役所の方が氾濫直前に来られ、道路の排水溝付近のごみを早急に処理していただきました。そのおかげで被害は最小限に抑えられました。職員の方には感謝しています。また水害の泥はすぐに回収しないと乾燥後かなり硬くなり清掃が大変でした。水分を含むと重いうえにぬかるみに足をとられてすべりやすくなりました。慣れないと対応に苦労するなと思いました。一人で回収する時に積った泥の所はしゃもじを使ったのですが（笑）かなり良かったです。ただ風が吹くと砂塵で目や鼻が痛みました。私は駅前の掃除をしていたので、たくさんの人が通る道路はしっかり水洗いしました。市役所や住民の人に喜ばれていたようです。



和歌山市 高垣晴夫さん

1. 活動内容

和歌山城ごみゼロ活動
（概要）



活動で集まった草や落葉の処分について焼却処理以外の方法について相談を受けました。和歌山市とJAに相談し、和歌山城で一時保管、JAに取りに来てもらい肥料にして使用してもらえるようになりました。

2. 活動を通じて気が付いたこと

コロナ禍が収まって、人の流れが活性化してきたので、街中のプラスチックごみ、煙草の吸殻が目立つようになってきました。レジ袋の散乱は少なくなってきたように感じます。

★今回はごみに関する活動を集めました。県では、県民及び県内事業者の自主的な清掃活動を「わかやまごみゼロ活動」として認定し、県ホームページ等での情報発信、清掃活動用の資機材の貸与、環境啓発グッズの提供などの支援を行います。詳しくは、こちらのHPをご覧ください。

和歌山県「わかやまごみゼロ活動について」

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031800/gomizero/katsudo.html>

